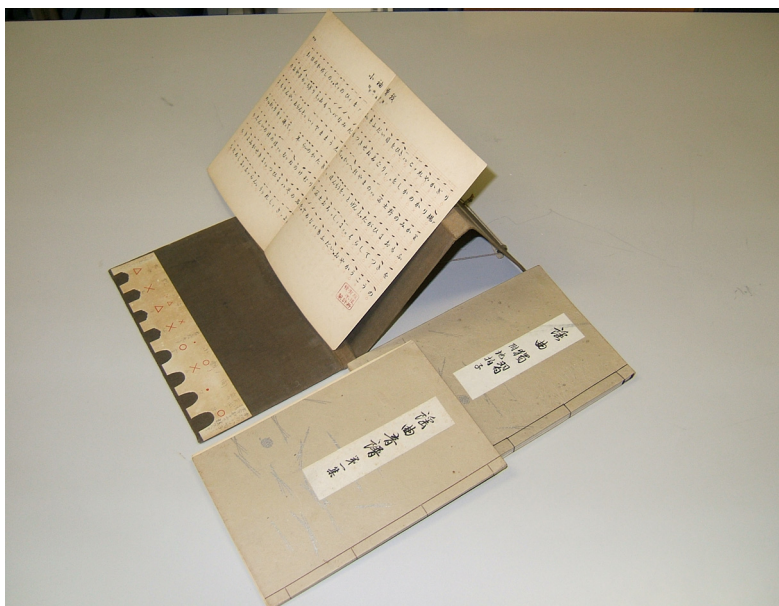


杉江櫻國 『謡曲 独習自在』

謡曲の教授方法に不満をもった著者が開発した、謡曲および地拍子の独習器具である。学習者は「之を机或は台の上に据へ置き地拍子盤の窪みたる処を少しの遅速なき様に指先にて押へつつ」、八拍子を打つのである。その前におかれるのが、横書きの楽譜である。指の運動に合わせて、謡の文句が当てはめられている楽譜を見つつ、謡をうたう練習をするのである。著者は、この装置に加えて、仕舞の軌跡を図示した譜『仕舞独習』も出版した。



標題 内題…

標題紙…

奥 附…謡曲音譜 第一集(付録)

その他…謡曲独習 附 地拍子 (本編題

簽)、謡曲 独習自在 (帙題簽)、

謡曲音譜 第一集(付録題簽)

著者 奥 附…杉江櫻國

その他の場所…櫻園(序)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…謡曲予習会

出版年…大正5 (1916)

その他の場所…

形態 冊数…一冊十付録十帙 頁数…四〇丁

寸法…23×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考